**【例題１】**日本の労働事情に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

ア．完全失業率（年平均）について見ると，2019～2022年の間で上昇し続けており，2022年には５％を超えた。

イ．雇用形態別雇用者数について見ると，2019～2022年の間で，正規雇用労働者数は減少し続けたが，非正規雇用労働者数は増加し続けた。

ウ．産業別雇用者数について前年と比べた増減を見ると，「宿泊業，飲食サービス業」の雇用者数は，2021年には減少したが2022年には増加に転じた。「情報通信業」の雇用者数は，2021年，2022年ともに増加した。

エ．雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った，いわゆる就職氷河期世代とは，おおむね2005年から2015年に学校卒業期を迎えた世代をいい，この世代の活躍促進に向けた支援が進められている。

オ．トラック，バス，タクシーなどの自動車運転の業務は，働き方改革における時間外労働の上限規制の適用猶予業務とされてきたが，2024年４月からは時間外労働の上限規制が適用された。

１．ア，イ
２．ア，エ
３．イ，オ
４．ウ，エ
５．ウ，オ

**【正答５】**

**【例題２】** Ａ～Ｄの４人が喫茶店に入り，各人が，お菓子をチーズケーキ，シュークリーム，アップルパイの３種類のうちから１種類又は２種類選び，更に飲み物を紅茶，コーヒーの２種類のうちから１種類選んで注文した。これに関して次のことが分かっているとき正しく言えるのはどれか。

・アップルパイを注文した人は２人であり，２人とも紅茶を注文した。
・Ａは２種類のお菓子とコーヒーを注文した。
・Ｂは，Ａと同じお菓子は注文しなかった。
・ＣとＤは同じ飲み物を注文した。
・Ｄはお菓子を１種類だけ注文したが，それはシュークリームではなかった。
・３人が注文したお菓子があった。

１．シュークリームを注文したのは１人だった。
２．コーヒーを注文したのは２人だった。
３．Ｂはチーズケーキを注文した。
４．Ｃはシュークリームを注文した。
５．Ｄはアップルパイを注文した。

**【正答１】**